

学校法人シュタイナー学園で学ぶ

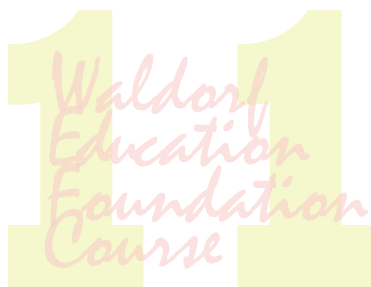
2018-2020

第11期シュタイナー教育教員養成講座

受講生 募集要項

日本シュタイナー学校協会連携型教員養成講座 提携講座

2018年  
7月開講



シュタイナー教育は、自らのうちにしっかりとした芯を持つ人間を育てる未来への教育として、多くの教育関係者や父母から関心を集めています。不安の多い現代、私たちひとりひとりが心から感じ、自ら考えることが欠かせません。このシュタイナー教育教員養成講座では、次の3つを柱に2年で30日間のカリキュラムを組んでいます。

**ルドルフ・シュタイナーが提唱した人間観・世界観の基礎**  
**シュタイナー学校の教師による教授法等のセミナー、**  
**第一線で活躍する、経験豊富な講師陣による芸術体験知識の学び**  
**シュタイナー教育を社会や家庭の中で実践するための基本的な知識**

シュタイナー学校の教員を目指す方はもとより、土曜クラスや公立私立学校の教育現場など、この講座での学びは各方面での実践に活かされています。またそれぞれ受講者の方々がシュタイナー教育のエッセンスをヒントに活動を広げられています。そのような方々が講座で出会い、新たな世界を切り開く力が生まれることも、この講座の目指すところです。講座毎に懇親会等を催し受講生同士の繋がりも每期充実したものになっていますし、交流の深まりが受講生同士の学び合いを生み、学びの深まりにつながっています。講座期間終了後も、講師・運営、受講生同士ともにネットワークが生まれます。シュタイナー教育を学ぶ場として四半世紀の継続から、皆さまに充実した学びの場を提供しております。

**日 程**

	2018～20年	2年間で計30日間（4回／年 各3～5日間）
初年度	①2018年 7月25日（水）～29日（日）	5日間
	②2018年 9月22日（土）～24日（月祝）	3日間
	③2018年12月26日（水）～29日（土）	4日間
	④2019年 3月29日（金）～31日（日）	3日間
2年度	①2019年 7月31日（水）～8月4日（日）	5日間
	②2019年 9月21日（土）～23日（月祝）	3日間
	③2019年12月26日（木）～29日（日）	4日間
	④2020年 3月27日（金）～29日（日）	3日間

※本講座は時間の制約上、海外の全日制の教員養成等に匹敵するものではなく、教育の基礎と本質を学ぶものです。修了時に上記の課程の修了を証明する修了証が、普遍アントロポゾフィー協会教育部門（スイス・ドルナッハ）との連名で発行されます。修了に際しては、一定の出席数、レポートの提出が必要です。

**場 所**

学校法人シュタイナー学園 吉野校舎（相模原市緑区藤野）  
 秋期のみ東京近郊の研修施設

**受講料**

1年間25万円（分割あり） 早期割引初年度のみ23万5千円  
 ※ オイリュトミーシューズ、リコーダー等教材費別途必要。

**定 員**

25名（最小催行人数15名）  
 締切早割締切：2018年4月30日 消印有効  
 申込締切：2018年6月30日



## 講座の内容・1日の流れ

### ■ オイリュトミー

シュタイナー教育では“魂の体操”といわれるオイリュトミー。個人で、他者と、又はグループで動くことを通して心と体のあり方や、個と全体の関わりなどを体験します。



### ■ セミナー

シュタイナー教育の実践に向けての教授法とその背景にある考えを、現場に立つ教師たちから学びます。また、シュタイナー教育の中で、子ども達が体験するエポック授業・手仕事等を実際に体験し、教育芸術としてのシュタイナー教育を学んでいきます。

### ■ 聴く体験と観る体験

本講座の特色として、聴くこと、観ることを継続的に体験し、教師の自己教育としての基盤となる聴く力、観る力を育むことを目的のひとつとしています。

響きの楽器の体験で感覚を磨き、水彩・フォルメン線描などを通して自らの感覚を広げます。

### ■ 講義

シュタイナー教育の基本となるルドルフ・シュタイナーの人間観・世界観を、文献を通して講義形式で学びます。また、ディスカッションの時間を設け、積極的に疑問や質問、自らの思いを講座で共有し、机上の学びでなく自らのところが通う学びを目指します。シュタイナー教育の基本文献である「教育の基礎となる一般人間学」を講座終了後も受講者自身で読み深めていけることを二年間の目標とします。

1時限	オイリュトミー
2時限	聴く体験
3時限	講義
—	昼休み
4時限	観る体験
5時限	セミナー
6時限	振り返り/ディスカッション

主な講師 荻原詩織・影島清恵・古賀美春・鈴木麻・鈴木一博・増淵智・柳澤玲一郎・吉澤明子（五十音順）

## 応募

ホームページからダウンロードした、または郵送等で取り寄せた応募用紙にご記入の上、下記連絡先まで Email, Fax, 郵送にてご応募下さい。

早期割引 締切：4月30日消印有効 応募締切：6月30日  
お申込みから2週間以内に、受講の可否をお知らせします。

## シュタイナー教育芸術アカデミー (ルドルフシュタイナーハウス)

〒192-0375 東京都八王子市鎌水 2-78-1-108

電話 03-6869-2196 FAX 03-6369-3898

Email [kyouinousei@gmail.com](mailto:kyouinousei@gmail.com)

WEB <http://steiner-jp.net/>





# FAQ

- Q: 受講条件はありますか？（年齢、教員免許の有無など）  
A: 20歳以上の方が対象であり、教員免許の有無は問いません
- Q: 受講料に、教材費や宿泊費は含まれますか？  
A: 含まれません、別途必要になります。
- Q: 受講に便利な宿泊施設はありますか？  
A: 藤野のおおだ山荘を10期の受講生の方々はグループで利用されていました。<http://cafe-shu.com/ohda/>  
JR上野原駅・高尾駅・八王子駅などには多数ホテル等の宿泊施設があります <https://www.jalan.net>  
近年はAirBnBを利用される受講生も見られます <https://www.airbnb.jp>
- Q: 講座を欠席した場合、どのように補填できますか？  
A: 次の期の講座、またはた別に開催されている教員養成講座の中で補填していただきます
- Q: シュタイナー学校の教員は教職免許が必要ですか？また、この講座の修了で、シュタイナー学校の教員資格となりますか？  
A: 学校法人格をもつシュタイナー学校では、日本の教員免許が必要です。また、シュタイナー学校の教員応募の条件としてシュタイナー教育教員養成の終了が求められます。今年から始まる日本シュタイナー学校協会の教員養成講座とも連携しております。養成講座の修了生で現在シュタイナー学校で実際働かされている方々は、実践力を身につけるために本講座とは別に各自実習にあたる場を求め、そののちに全日制のシュタイナー学校の教員として採用されているケースか、既に公立学校などでの現場経験の豊富な方が修了後、シュタイナー学校の担任や専科の教員として採用されるケースが、養成講座からの主なシュタイナー教育の教員への流れです。各学校の状況によりますが講座終了後、すぐに具体的な仕事に結び付くもの資格等とお考えにならない方がいいと思われます。各地のシュタイナー学校や土曜クラスから教員募集がある時にはその都度受旗生にお知らせしています。
- Q: 日本シュタイナー学校協会の連携型教員養成とはどういう連携なのでしょう？  
A: 現在（2/25）正式なアナウンスがありません。近日中に詳細が発表されると思いますので、分かり次第お知らせさせていただきます。私達のような連続講座を受講するよう推奨される予定です。こちらの講座を受講して頂き、その後から連携型に登録することでも問題なく履修単位は連携型の単位として換算される予定です
- Q: 受講までのスケジュールはどのようですか？  
A: 早期割引及び通常申込の締切（4/30,6/30）までに応募用紙を送付→ 受講受諾のご連絡→ 受講料の納付→ 講座のしおり送付→ 講座受講開始（7/25）となります
- Q: 受講料の分割支払の詳細は？  
A: 基本的には年度毎2回 or 3回の分割になります（下記参照）  
（2分割：受講受諾後2週間・12月 3分割：受講受諾後2週間・10月・2月）  
それ以外の支払回数を希望の方は直接ご相談下さい
- Q: 講座の1日のスケジュールは？  
A: 別紙の講座の時間割サンプルをご参考になさって下さい。お昼等は会場で用意するものを利用できますし、持ち込みも可能です

# 応募用紙

シュタイナー教育  
教員養成講座

平成 年 月 日

ふりがな		性別		〈写真貼付欄〉
氏名		職業		
生年月日	年 月 日 ( 歳)			
住所	〒			
電話番号		FAX番号		
メールアドレス	(PC)			
	(携帯)			
教員免許	有 無	(種類)		
その他の資格				
本講座志望の理由				

ここに記入された情報について、本来の目的以外には使用いたしません。

## 受講に関するアンケート

	いつ 例)10年前	どのように 例)子育てを通して
シュタイナー教育をいつ、 どのように知りましたか？		
当講座をどこで 知りましたか？ (該当の項目に○を記入)	A : 教員養成講座ホームページ B : 講座のFacebookページ C : Twitter D : Googleの広告 E : その他のインターネット上の情報から C : チラシをみて D : その他( )	
2年間の受講修了後の 方向性 (該当の項目に○を記入)	A : シュタイナー学校の教員を目指す B : 現在の職に活かす C : 地域活動に活かす(土曜学校など) D : 留学 E : その他( )	
2年間受講を続けることに 不安がある場合は 明記して下さい。		

アンケート内容は、講座運営に参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。